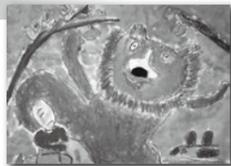


◆◆◆ 平成28年度 読書感想画・読書郵便作品展 **入館無料**

開催期間：12月24日(土)～平成29年2月4日(土)

秋の読書週間に四万十町内の小学生から応募のあった作品を展示します。子どもたちの元気な作品をぜひご覧ください。
応募作品、**全683点**を展示します！

読書感想画 入選作品より▶



◆◆◆ 岡林流仙家族展 ◆◆◆

開催期間：平成29年2月12日(日)～4月2日(日)

四万十町出身在住作家、故・岡林流仙氏の作品とともに、息子の岡林修平氏、修平氏の妻の岡林秀子氏、修平氏の娘の岡本絵里氏の作品を展示します。絵画に向き合ってきた家族3代の絵画作品展。岡林流仙氏の1968年高知県展特選作品「座せる人」や、岡林修平氏の2003年高知県展褒状作品「漁港の休日」など、合わせて約20点を展示します。



「座せる人」岡林流仙

【入館料】一般200円(高校生以下無料)

身体障害者手帳(1級・2級)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、長寿手帳に類するもの(運転免許証や保険証等)を提示する65歳以上の方は無料。

【休館日】月曜日・祝日 ※最終日は午後4時までの開館

★初日は午後2時より開館し、オープニングセレモニーを行います。

美術館・図書館からのお知らせ

ちよっぴり

図書館へ新しく入った本の中からご紹介

本館

DIYで楽しむ手作りストーブの本
学研プラス

手作りストーブ実践マニュアル、ロケットストーブの基本構造や安全な室内導入案内などストーブ作りに役立つ資料ガイド等も収録。野外用・室内用の手作りストーブ実例をわかりやすいイラスト図解付きで紹介しています。



プロ野球のスゴイ話

『野球太郎』編集部 著 / ポプラ社

ヒットをたくさん打つ打者のアタマの中身、捕手のひみつ、監督やコーチの仕事についてなど、プロ野球に関するスゴイ話を、打者編、投手編、守備編、作戦・球場編に分けて紹介します。



分館

モレスキンのある素敵な毎日

中牟田洋子 / 大和書房

ゴッホやヘミングウェイに愛された伝説のノート、それが「モレスキンノート」。この上質なノートがそばにあれば、「ふつうの毎日」が楽しみ・刺激・喜びであふれ出します。自分らしい使い方方で新年から始めてみてはいかがでしょうか！



日本のむかしばなし

瀬田貞二 文 / 瀬川康男・梶山敏夫 絵
のら書店

子どもたちにぜひ読んであげたい日本の昔話を、格調高い文と絵で贈ります。収録作品 花さかじい / すずめのあだうち / 三まいのおふだ / つぶの長者 / 年こしのたき火 他 全13編



図書館に新しく入った本のリスト(最新号)を四万十町役場のホームページより見る事ができるようになりました! ご利用ください。



■開館時間

図書館 / 午前 9:30～午後6:00 (日曜 午前 9:00～午後5:00)
美術館 / 午前10:00～午後5:30 (日曜 午前10:00～午後4:30)

■休館日 / 月曜・祝日

四万十町立図書館・美術館 ☎22-5000
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

地域おこし協力隊が行く!

津島 沙織

今井 深暉

菊池 祐

立花 聡子

鈴木 信太郎

田邊 愛

瀬嶋 和也

峯山 典明

岩垂 桂也

皆さん、こんにちは。四万十町では現在19人の地域おこし協力隊員が活動しています。今回は、小野、鈴木、笹倉各隊員の様子を報告させていただきます。

こんにちは。大正東部地域担当の小野です。

今年の秋は多くのお祭りに参加させていただく機会に恵まれました。高岡神社のお祭りでは甲冑(かっちゅう)を着ることができました。花取り踊りも、奥打井川と中津川の二か所で踊るとい、通常ではありえないことも経験させていただきました。参加したそれぞれのお祭りで地域の方から感謝してもらえたことがとても嬉しかったです。ただ、それだけ地域のお祭りが人手不足という問題でもあります。永く続いてきた地域の小さなお祭りを後世に伝えていくことも大切な活動なのだとことをしみじみと考えさせられました。

さて、私自身の今後についてです。私が四万十町に来てもうすぐ2年が過ぎようとしています。2年間で得ることのできた多くの財産を活かして、3年目はいよいよ定住に向けて動き出したいと思っています。この2年間で、四万十町には多くの素晴らしいものがあるということを感じることができました。「食」「祭」「自然」「人」。私が感じたこの町の良さを、世界中の多くの人々に伝えることができる。定住後はそんな仕事に就きたいと考えています。そのために必要な知識などを得るよう日々勉強しています。来年の春。皆さんに良い報告ができるよう頑張っていきたいと思っています。



小野 雄介

浦島 卓也

井原 理恵

金瑛 順

野村 一将

小林 玲央

笹倉 潤

松本 千花



皆さん、こんにちは。窪川地区担当の鈴木です。

秋といえば収穫の秋。活気あふれるお米や生姜の収穫風景が四万十町のあちらこちらでみられた10月から11月。今年は私も去年よりだいぶ長い日数を生姜の収穫作業に従事させていただきました。今年の天候が生姜の成長に合っていたのか、「例年より収穫量が多かったよ」と多くの農家さんから聞きました。天候で様々なことが左右される農業ですが、春先の種まきから収穫までの一連の作業を経験した今年、真夏の除草作業時の大変さや収穫時に感じる喜びは、ますます農業で生きていきたいと強く感じさせてもらった1年でもありました。

協力隊生活も折り返し地点をあとという間に通過し、定住に向けて本格的に動く時期となりました。四万十町に根付いて生活できるよう頑張っていきたいと思っています。

こんにちは。十和地域担当 炭焼職人見習いの笹倉です。

先月は現在、住宅をお借りしている小野地区のお祭りにはお神輿と共に牛鬼が出ます。牛鬼というお隣の愛媛・宇和島のものがあるのですが、ここ四万十町十和小野地区は愛媛との県境に近いということもあり、伊予文化の影響を色濃く受けており、お祭りにもその影響が残っています。

今回は牛鬼の先頭、一番前を担がせていただくことになりました。

先頭は牛鬼の首が伸びた時(牛鬼は首が「にょーん!」と伸びるんです!)に前方に荷重が掛かるから相当重くなるぞ!と言われていましたが、どうにかこうにか全行程を交代なしで無事、担ぎ終えることができました。(翌日、肩に痣ができるほどの痛さと肩こり?のような症状になったのは秘密です...)

私のような県外からの移住者に地元の伝統である牛鬼を担がせていただけることは大変名誉なことであり嬉しいことなのですが、同時に地元のお祭りを受け継ぐ若い力が減っているということでもあり、古来より受け継がれてきた大切な伝統文化をこれからも途絶えないう受け継いでいくことの重要性も認識させられました。

私自身、協力隊としてのミッションの中で炭焼職人に弟子入りして炭焼の勉強をさせていただいているということもあり、今回のお祭りへの参加で体験した伝統文化の継承の大切さに関して考えさせられる良い機会となりました。現在はスイッチ一つで灯りや熱が出る電気やガスなどが主流となった便利な世の中になりましたが、その中でいかにして炭の有用性と必要性を知っていただくかと同時に四万十町の炭焼文化を途絶えさせないようにしっかりと技術と志を受け継ぎ、後世へ伝えていけるような仕事の出来る職人を目指して日々、努力していきたいと思っています。



石井 創

大塚 智裕



小野 雄介

浦島 卓也

井原 理恵

金瑛 順

野村 一将

小林 玲央

笹倉 潤

松本 千花